

第142号
2018.8.1

ひこね 市議会だより



第53回滋賀県消防操法訓練大会
(8月5日)に出場する彦根市消防
団第2分団(ポンプ車の部門)と
第5分団(小型ポンプの部門)の
訓練の様子

平成30年5月臨時会(5月17日)

平成30年6月定例会(6月4日～6月21日)

- 5月臨時会の結果 2～3
- 6月定例会で決まったこと ... 4～8
- 個人質問..... 9～18
- お知らせ..... 19～24

— 決定しました —

5月臨時会で議長、副議長を選任しました。
また、各委員会委員の構成は以下のとおりです。

二元代表制の一翼を担う議会が市民福祉向上のため、丁々発止の議論が交わせる環境整備に努めてまいります。



議 長
安 藤 博 議 員



副 議 長
馬 場 和 子 議 員

副議長という大任を拝することとなりました。議長を補佐し、円滑な議会運営が図れるよう努めてまいります。

◇ 委員会の構成 ◇

(平成30年5月17日現在)

企画総務消防常任委員会	○ 八木 嘉之	和田 一繁	谷口 典隆	獅山 向洋
	○ 野村 博雄	上杉 正敏	安藤 博	西川 正義
福祉病院教育常任委員会	○ 長崎 任男	馬場 和子	奥野 嘉己	小菅 雅至
	○ 北川 元気	小川喜三郎	矢吹 安子	山田多津子
市民産業建設常任委員会	○ 赤井 康彦	杉原 祥浩	中野 正剛	安居 正倫
	○ 辻 真理子	山内 善男	安澤 勝	夏川嘉一郎
予算常任委員会	○ 上杉 正敏	獅山 向洋	山内 善男	矢吹 安子
	○ 小川喜三郎	和田 一繁	赤井 康彦	北川 元気
	長崎 任男	杉原 祥浩	西川 正義	安澤 勝
議会改革特別委員会	○ 安澤 勝	北川 元気	杉原 祥浩	山内 善男
	○ 小川喜三郎	小菅 雅至	赤井 康彦	上杉 正敏
市庁舎耐震補強・増築・改修工事にかかる工事請負契約に関する調査特別委員会	○ 西川 正義	杉原 祥浩	北川 元気	和田 一繁
	○ 八木 嘉之	上杉 正敏	夏川嘉一郎	辻 真理子
	野村 博雄	山内 善男	長崎 任男	小川喜三郎
議会運営委員会	○ 赤井 康彦	山田多津子	獅山 向洋	野村 博雄
	○ 和田 一繁	上杉 正敏	長崎 任男	小川喜三郎
議場開放促進委員会	○ 山内 善男	小川喜三郎	奥野 嘉己	馬場 和子
	○ 中野 正剛	赤井 康彦	杉原 祥浩	北川 元気
広報委員会	○ 上杉 正敏	西川 正義	安澤 勝	矢吹 安子
	○ 和田 一繁	長崎 任男	八木 嘉之	夏川嘉一郎
広聴委員会	○ 辻 真理子	安居 正倫	獅山 向洋	山田多津子
	○ 野村 博雄	安藤 博	谷口 典隆	小菅 雅至
議会情報公開調整委員会	○ 西川 正義	野村 博雄	小菅 雅至	
	○ 夏川嘉一郎	小川喜三郎		

※○＝委員長 ○＝副委員長

5月臨時会の結果

5月17日の5月臨時会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算案など予算関係2件、その他議案2件を原案のとおり可決・承認・同意しました。

また、委員会議案1件を可決しました。

新しい彦根市監査委員を選任

新しい彦根市監査委員を安居 正倫議員とする議案に対し、全会一致で同意を与えました。



5月臨時会 議案の審議結果

会期：5月17日（1日）

■全員賛成で可決・承認・同意した議案等

項目	番号	件名
議案	41	平成30年度(2018年度)彦根市一般会計補正予算(第1号)
	42	専決処分につき承認を求めることについて(平成29年度(2017年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号))
	43	専決処分につき承認を求めることについて(彦根市市税条例および彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例)
	44	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて
委員会議案	1	彦根市議会委員会条例の一部を改正する条例案

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	9	和解および損害賠償の額の決定について
	10	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	11	損害賠償の額の決定について
	12	和解および損害賠償の額の決定について



6月21日に閉会した6月定例会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算案1件、条例関係6件を審査し、原案のとおり可決しました。

また、請願2件のうち1件を採択、1件を不採択とし、会議案1件を否決、決議案2件を否決、意見書案1件を可決しました。

6月定例会の結果

生涯スポーツ管理運営事業

218万1千円

市民体育センターの解体に伴う代替施設として、国立印刷局彦根工場体育館と彦根翔西館高校第2体育館を借用するための経費等です。

〈事業内容〉

・ 消耗品費	2万円
・ 通信運搬費	3万7千円
・ 施設管理等委託料	70万6千円
・ 使用料及び賃貸料	107万2千円
・ 体育施設使用助成金	34万6千円
合 計	218万1千円

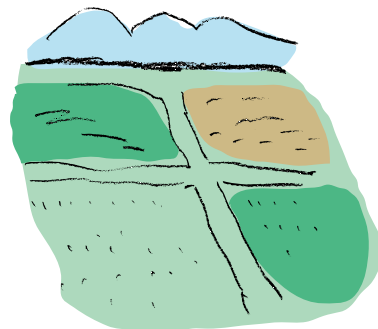
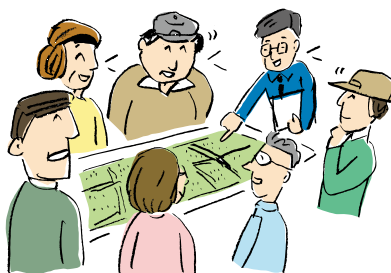


▲彦根翔西館高校第2体育館（旧彦根西高校）

産地競争力強化対策事業

3,500万円

高付加価値化や産地コストの低減等、産地の収益力強化を図るため、JA東びわこの施設再編として東部営農センター敷地内にトラックスケールと色彩選別機を新設する費用に対し、滋賀県の産地競争力強化対策事業費補助金を活用し、1/2の補助を行うための経費です。



予算常任委員会

平成30年度(2018年度)

彦根市一般会計補正予算(第2号)を可決

予算常任委員会は、6月14日に委員会を開催し、1件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第45号

【主な内容】

○議案第45号 質疑

Q 市民体育センター解体に伴う代替施設の確保の現状は。

A 国立印刷局体育館・彦根翔西館高校第2体育館等を確保している。

A Q 産地競争力強化事業の本身は。
東部営農センター内にトラックスケールと色彩選別機を新設するもの。

A Q J R 稲枝駅西口、東口の駐車場の整備予定は。
平成30年度は西口を、平成31年度は東口を予定。

○議案第45号 討論

反対 市民体育センター再開の署名を行っている中で取り壊しありきで進んでいる事に対し反対する。

中期財政計画を見直している中での取り壊しに関する予算は反対する。

賛成 ほとんどの事業が市債によるもので、財政再建基準に触れる恐れがあるため、反対する。

将来的な方向性も見られ、国体中止になることになれば信用も失われる。早期の新市民体育センター完成を多くの市民が望んでいることから賛成する。

【結果】

・議案第45号は原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会

(仮称)彦根市新市民体育センターの

早期建設を求める請願書を採択

福祉病院教育常任委員会は、6月15日に委員会を開催し、議案4件および請願1件について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第47号・議案第49号・議案第50号・議案第51号
・請願第3号

【主な内容】

○議案第51号 討論

反対 選定療養費の制度は、病院と診療所の機能分化を進めるためのものと理解するが、これだけ利用者負担が増えるのは制度上問題がある。機能

分化は病院とその周辺の医療機関との協議・連携を優先して行われていくべきと考えることから、反対する。

○請願第3号に関する発言

・新市民体育センターの建設は、彦根市スポーツ協会に加盟する42団体が望んでいることであり、議会としても市長に強く働きかけるよう、委員の賛同を求める意見があった。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決
・請願第3号は採択

市民産業建設常任委員会

彦根市営住宅の設置および管理に関する 条例の一部を改正する条例案を可決

市民産業建設常任委員会は、6月18日に委員会を開催し、1件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第48号

【主な内容】

○議案第48号 質疑

Q 現在の市営住宅の数は。

A 25団地、管理戸数は596戸。

Q この議案が適用される想定はあるのか。

A 現在、適用案件はない。

Q 成年後見人制度との関係は。

A 成年後見人がいる場合は、本件から除かれる。

Q マイナンバー制度を活用できるのでは。

A どういう理由で改正に至ったのか。

Q 国の改正理由は不明だが、社会の高齢化が進み、

必要が生じたためと推測される。

【結果】

・議案は原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

彦根市市税条例等の一部を改正する 条例案を可決

企画総務消防常任委員会は、6月19日に委員会を開催し、議案1件と請願1件などについて慎重に審査しました。

【審査】

・議案第46号
・請願第4号

【主な内容】

○議案第46号 質疑

Q 条例改正後、たばこ税の増税にかかる税収はどの程度見込んでいるのか。

A たばこの消費量の落ち込みも予想されるため難しいが、国の税制改正にかかる試算から、本市の税

収見込み額を試算すると1500万円程度の増収見込みとなる。

○請願第4号に関する発言

・今回の事案は、単なる人事問題ではなく、パワーハラスメントの要素もある。消防団長の任命権者である市長として、問題解決に向けて行動を起こし責任を果たすべきである。

【結果】

・議案第46号は原案のとおり可決
・請願第4号は不採択

【所管事務調査】

○本庁舎耐震化整備事業に関する主な質疑

Q 耐震化工事の延伸により、仮庁舎の借用期限の延長は可能なのか。また借用にかかる費用はどの程度必要なのか。

A 工事の延伸に伴う借用期間の延長は概ね了解をいただいている。建物等の借用だけで月々960万円程度の費用が必要となる。

議会改革特別委員会



4月4日に開催した委員会では、まず初めに「災害発生時の議員の行動について」を議題とした。昨年度の視察において学習した先進地事例を参考に、災害発生時の議会の行動を明確にし、対応要領や議員の行動マニュアルを定めるために議会改革特別委員会内に災害時対応プロジェクトチームを設置し、早急に協議することとした。

次に議題とした「視察対応プロジェクトチームについて」では、これまで前期の正副議長が中心となって議会に関する他の市議会からの視察を受け入れてきたが、来期へ向けて経験を積むために、今後は議会改革特別委員会の委員がメンバーとなって、対応することとした。

その他、昨年度締結した大学連携について、他の大学との連携の模索や、インターネット中継の画面の改良などについて今後の検討課題とすることとした。

災害時対応プロジェクトチームを設置

市庁舎耐震補強・増築・改修工事にかかる工事請負契約に関する調査特別委員会

5月22日および23日に調査特別委員会を開催し、4名を証人として出席願ひ証人尋問を行った。証人ごとに宣誓書の朗読と人定尋問のあと、委員長から総括質問を行い、次に各委員から補足質問を実施した。

まず、5月22日に開催した第3回の委員会では、山本前都市建設部長、小菅岐建株式会社滋賀支店長、川嶋前副市長の3名に対する証人尋問を行った。

山本前都市建設部長には、随意契約に向けた見積り合わせの指示に係る協議や報告の有無、岐建株式会社との交渉や関係部署協議における地方自治法施行令違反の認識、仮契約における契約書の取り扱い等について証言を求めた。

小菅岐建株式会社滋賀支店長には、入札金額および随意契約交渉のための見積額の妥当性、仕様変更に至る交渉内容、契約に対する認識等について証言を求めた。

川嶋前副市長には、契約に至る各過程において、副市長として受けた報告および市長への報告、一部工事を除外することを決定した協議、地方自治法施行令違反の認識等について証言を求めた。

続いて5月23日に開催した第4回の委員会では、大久保市長に対する証人尋問を行った。大久保市長には、本件に係る市長への報告状況、予算設定や予定価格の妥当性、入札不調や仮契約に対する認識等について証言を求めた。

2日間の尋問を通していづれもコンプライアンスの認識が希薄であったこと、大型事業を遂行する執行部としての協議内容が現時点でも明確でないことから、今後も引き続き証人尋問の内容を精査し、その他関係者への調査等を視野に入れながら本件に取り組んでいくこととする。

決裁権者・市幹部等の
コンプライアンス認識が希薄

6月定例会 議案の審議結果

会期：6月4日～6月21日

■ 全員賛成で可決・採択した議案等

項目	番号	件 名
議案	46	彦根市市税条例等の一部を改正する条例案
	47	彦根市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
	48	彦根市営住宅の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案
	49	彦根市介護保険条例の一部を改正する条例案
	50	彦根市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準等を定める条例および彦根市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備および運営ならびに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例案

■ 議会に提出された報告

項目	番号	件 名
報告	13	平成30年度(2018年度)一般財団法人彦根市事業公社の事業計画について
	14	第31期彦根総合地方卸売市場株式会社の事業計画について
	15	第22期株式会社夢京橋の事業計画について
	16	第16期株式会社四番町スクエアの事業計画について
	17	平成29年度(2017年度)彦根市繰越明許費繰越計算書について
	18	平成29年度(2017年度)彦根市事故繰越し繰越計算書について
	19	平成29年度(2017年度)彦根市水道事業会計予算繰越しについて
	20	訴えの提起とみなされた支払督促の申立てに係る請求につき和解をすることについて

■ 賛否が分かれた議案等

【賛否が分かれた議案等・審議結果】（○：賛成 ●：反対 一：議長 退：退席）

項目	番号	件 名	結果	辻	山	北	谷	夏	小	赤	安	八	矢	奥	野	小	和	上	中	山	山	杉	長	安	西	馬
				真	向	元	典	嘉	喜	康	藤	木	吹	野	村	菅	田	杉	野	内	山	原	崎	澤	居	場
				理	洋	気	隆	一郎	三郎	彦	博	之	安	己	博	至	一	敏	正	善	多	任	任	正	正	子
				子																						
議案	45	平成30年度(2018年度)彦根市一般会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	○	○	○	○	一	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	51	彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
請願	3	(仮称)彦根市新市民体育センターの早期建設を求める請願書	採択	●	●	●	○	○	○	○	一	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	4	消防団人事について、市長の任命権者としての役割発揮を求める請願	不採択	●	○	○	○	●	●	●	一	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	退	●	退	退	●
会議案	2	財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一部を改正する条例案	否決	○	○	○	●	●	●	●	一	●	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●
決議案	3	大久保貴市長に対する辞職勧告決議案	否決	○	○	○	○	●	●	●	一	●	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●
	4	財政規律の堅持と透明性の確保に関する決議案	否決	○	○	○	○	●	●	●	一	●	●	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●
意見書案	4	彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設建設候補地の見直しを求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	●	●	一	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



市政を
ただす!

6月定例会個人質問

18人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

各議員が決める

質問の内容は、議案に限らず市政全般から議員個人が決めます。

制限時間は30分

議員1人あたりの発言時間は30分です。一問一答方式で行い、答弁は市長や各部長等が行います。

動画で見る

市議会のホームページから、個人質問等の様子をライブ・録画中継で見ることができます。

彦根市議会では本会議のライブ配信ならびに録画配信を行っています。ぜひご覧ください。

(<http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/>)

※委員会のライブ・録画配信は行っておりません。



彦根市HP → **市議会** → **彦根市議会インターネット映像配信** からも見いただけます。



彦根市議会では市民のみなさまに開かれた議会をめざし、Facebookも活用しています。本会議の日程をはじめ、行政視察受入内容や市議会主催の事業などの情報を発信しています。ぜひご覧ください。

彦根市HP → **市議会** → **Facebook** からも見いただけます。



奥野 嘉己議員



市長の首長としての
政治責任を問う



各事業を成し遂げること
が選ばれた私の責任

Q 彦根市市政は数多くの問題を抱えている。昨年後半からでも、副市長辞任騒動、新ごみ処理場建設候補地に関する意見書可決を無視する形で検討委員会発足、本庁舎耐震化工事での裏合意発覚、副市長引責辞任、百条委員会設置、有害物質検出、当初予算修正に対し原案執行、広域行政組合予算修正に対し原案執行、中期財政計画の大幅修正（大幅赤字）等と立て続けに問題が起きている。百条委員長中間報告では「決裁権限者としての資質を疑う。」とまでの報告があった。市民生活への悪影響を避け、市政刷新にむけて、市組織トップの市長の辞職と再選挙実施の英断を求める。

A 説明を尽くし、各事業を何としても成し遂げることが、市民から選ばれた私の責任。

その他の質問

- ・彦根市財政の現状について
- ・新ごみ処理施設整備に関する疑問点について

※写真の掲載はありません



中野 正剛議員



点字ブロック設置時に
視覚障害者の意見は



県立視覚障害者センター
の意見等を反映

Q 点字ブロックの設置に、視覚障害者の方の意見を取り入れる機会を設けているか。

A 「彦根市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例」や、国が示しているガイドラインに基づき配色や色彩などの設計を行い、「県立視覚障害者センター」に意見を伺い工事を発注し、工事実施時には視覚障害者の方の現地立会のもと助言をいただき施工している。

Q 視覚障害者の階段の昇り降りを考えて階段の両側に握れる程度の手すりの設置を。

A 道路の階段に設けられる手すりの幅は「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」の中で、外径4センチ程度で握れる大きさと規定されており、新たに設けられる手すりは、階段の両側に握れるものが設置されることになる。



▲彦根駅東口の点字ブロック

その他の質問

- ・彦根市災害廃棄物処理計画案について
- ・一般廃棄物処理基本計画について

個人質問



杉原 祥浩議員

Q 近年の児童数の推移は。

A 平成21年度からの10年間で小学校は約600人減少。

Q 今後、児童数の減少が予想される小学校は。

A 城東・城西・城南・旭森・城陽・若葉・金城・鳥居本・亀山・稲枝東の10小学校。

Q 今後、児童数の増加が予想される小学校は。

A 平田・佐和山・河瀬・高宮・稲枝西・稲枝北の6小学校。

Q 児童生徒数の増加が予想される学校への取組は。

A 加配教員の新たな配置や支援員の増加等を、国や県に要望していく。また、学校施設面では、仮設校舎の設置や校舎の増築により対応する。

Q 通学路として国道や踏切を横断している箇所は。

A 小学校は、国道が14箇所、踏切が9箇所、中学校は、国

Q

近年の市内小学校の児童数の推移は

A

10年間で小学校では約600人の減少

道が15箇所、踏切が17箇所。



▲増築された高宮小学校

その他の質問

・幼稚園、保育園、子ども園、小中学校の学級編制の決まりは学級編制における、他市町の特徴のある取組は



長崎 任男議員

Q 私たち議員や報道機関に2月2日に配布された経過報告書（市庁舎耐震化整備事業に係る事業の経過）を作成するにあたり、これが真実であるう、こう記載しようという判断をされたのは誰か。

A 公有財産管理課耐震化推進室で作成した原案に対し、山根前副市長の指示により、事実確認・事実認定の内容を反映させ最終的に市長が判断。

Q 百条委員会で川嶋前副市長は、この事業について、一部の工事を取りやめるという指示はしていないと発言されているが、今でも、そういった具体的な指示が川嶋前副市長からあったと考えているか。

A 工事詳細等の具体的な指示がなされたとは思っていないが、「できるだけ契約できるように交渉努力して欲しい」と指示されていることが問題。

Q

川嶋前副市長から具体的な指示はあったのか

A

工事詳細等の具体的な指示はなかったと認識



▲耐震化工事が中断している彦根市役所





夏川嘉一郎議員

A

原子力災害対策は県と
県内19市町で対応する

Q

原発「再稼働同意権」の
必要性について

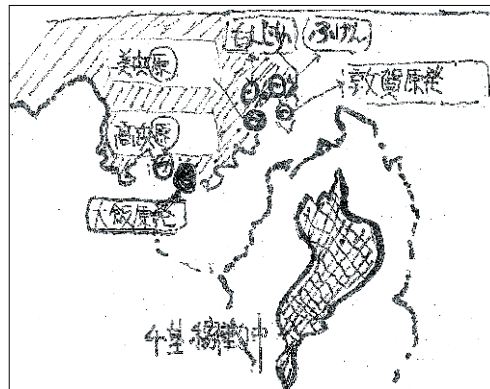
Q 福井県大飯原発が再稼働した。先の高浜に続く4基目の再稼働、国は全原発再稼働に前のめり。さて近年、福島原発事故被害の大きさを

知ると、既に再稼働同意権を持つ原発立地自治体（半径30km圏内）以外の自治体でも再稼働同意権を求める動きが活発化、本市も被害可能性大の自治体として同意権を求める時、行政の対応を問いたい。

A 再稼働同意権は県と19市町で構成する県原子力安全対策連絡協議会で足並みを揃え対応する。国には立地自治体並みの体制整備を求めている。

Q 米国の危険区域圏は80km（全滋賀同意権・自然取得）この目標を目指すべき時では。

A 区域拡大は本市が具体的に主張できるものではないが、万が一の場合に備えてできる限り体制整備を図っていく。



▲福井県周辺の原発群

その他の質問

・大学連携は特に地域活性化に重点を。また、成果検証を
・河瀬公園は安易な森林否定。公園設計の中で森の復活策を



獅山 向洋議員

A

裏合意に関し概括的な
指示もしていない

Q

百条委員会における大久
保市長の証言について

Q 百条委員会において大久保市長・川嶋前副市長ともに「裏合意は後日知った」と証言した。市長は誰が裏合意を指示したと考えているのか。

A 詳細な工事内容など具体的な指示を全て川嶋副市長がしたと思っていないが、随意契約への移行時に前都市建設部長に「できるだけ契約できるように交渉して欲しい」と指示しており、結果的に条件変更を前提に契約しようとしたことが問題であったと考えている。

Q 川嶋前副市長の指示は概括的なものであったとして、大久保市長も概括的な指示をしたのではないか。

A していない。
Q 概括的な指示をしたのはあくまで川嶋前副市長か。そうだと思う。



▲彦根市役所本庁舎の現状

その他の質問

・岐建株式会社の指名停止について
・初診の選定療養費について
・関係人口について



上杉 正敏議員

Q 彦根市内にある高校のバリアフリー化の実態は。

A 彦根市内の県立高校4校と私立高校2校の計6校について、全校にバリアフリーといは1箇所以上設置されており、スロープも一定の整備はされている。手すりについては、スロープや階段に設置されている。エレベーターは6校中2校に設置されている。

Q 肢体不自由のある中学生の進路に自由はあるのか。

A 障害の程度や教育的ニーズ等にに応じて進路を選択し、発達段階を考慮しつつ在籍校と本人・保護者が十分に協議し、進路選択の合意形成を図った上で受験されることが第一と考える。また、進路選択に係る教育の機会均等はすべての生徒に保障されるべきであり障害のある生徒も希望高校を受験できることが望ましい。



希望高校を受験できることが望ましい



肢体不自由のある中学生の進路選択に自由は



▲市内の教育施設に設置されているエレベーター

その他の質問

- ・古写真データ・歴史的民俗資料の活用は
- ・企画展「彦根製糸場―近代化の先駆け―」について



矢吹 安子議員

Q まちづくりを盛り上げるため、彦根城世界遺産登録意見交換・応援1000人委員会「旧町名復活」の議論を。

A 当委員会総会における意見交換では、町名をもとに戻してほしいという意見もあり、旧町名復活は今後当委員会で議論していきたい。

Q 旧町名をできるところから復活とはいかがが。

A 現在の町名にすっぽり入る旧町名は、馬場一丁目には観音堂筋、錦町には伊賀町等がある。住民総意の条件が整えば旧町名復活を検討することは可能であると考えます。

Q 旧町名復活への見解を問う。

A 旧町名を明示した道標等の公共サインや町の由来を解説する説明板を設置している。当委員会でも取り上げていたが、これからの議論の盛り



旧町名復活は1000人委員会の議論に期待



まちづくりを盛り上げるため、旧町名復活を

上がりを期待したい。



▲彦根城廓旧観図 上田道三筆(K4-5) 彦根城博物館提供

その他の質問

- ・国際的に認知された言語、手話について
- ・在宅医療福祉の推進について
- ・彦根市立病院における在宅医療の取組は



小川喜三郎議員



中期財政計画の市長の
取組方針と決意は

財源を確保し将来に
禍根を残さない

Q 市税収入の確保の見通しは。

A 今後も今年度と同額で概ね堅実な数値と考えている。

Q 施設整備を見直す考えは。

A 市債の発行を抑えるが国体関連事業の計画延伸はない。

Q 今後の企業会計や特別会計への繰り出し金の考えは。

A 基準外の繰り出しはしない。

Q 市単独事業の削減は市民サービスの低下に繋がるが。

A 各担当で判断させるが、十分な周知が必要と考える。

Q 職員の人件費の削減計画は。

A 時間外勤務について、昨年度対比10%削減を目標に取り組み、職員の給与の削減や人員の削減は考えていない。

Q 歳入確保や歳出の削減への市長の取組方針と決意は。

A 税収に見合った事業とし、

彦根市中期財政計画

(平成31年度～35年度)

平成30年5月
彦根市

▲彦根市中期財政計画（平成31年度～35年度）

その他の質問

- ・市立病院地域包括ケア病棟開設は
- ・新たな「心臓ドック」の検討状況について
- ・脳ドックによる認知症診断は



北川 元気議員



財源不足の対応で
削られる市民サービスは

現時点で具体的な
削減内容はわからない

Q 新たに公表の中期財政計画では、平成35年までの5年間の累計で約152億円もの赤字となっているが、財政収支の見通しは。

A 平成31年度以降、毎年24億円から35億円の財源不足が見込まれ、財政状況は非常に厳しいと認識している。

Q 大型事業を見直す考えは。

A 新市民体育センターや金亀公園の再整備のほか、周辺道路、河川の整備等の国体関連経費は、平成36年度の国体開催を見据えて整備を進める必要があるが、その他は総合的に判断する必要がある。

Q 具体的にどの市民サービスが削られるのか。

A 次年度予算編成から実施する枠配分方式で、市民に一番近い部局が議論して予算調整を行うので、現時点で具体的な削減内容はわからない。

彦根市中期財政計画

(平成31年度～35年度)

平成30年5月
彦根市

▲彦根市中期財政計画（平成31年度～35年度）

その他の質問

- ・新ごみ処理施設について
- ・彦根警察官射殺事件について

個人質問



赤井 康彦議員



今年の7月頃から

運営を開始する予定



空き家バンクの創設は

Q 彦根市空家等対策計画では、具体的な施策の推進として空き家バンクの創設がある

がいつから開始か。

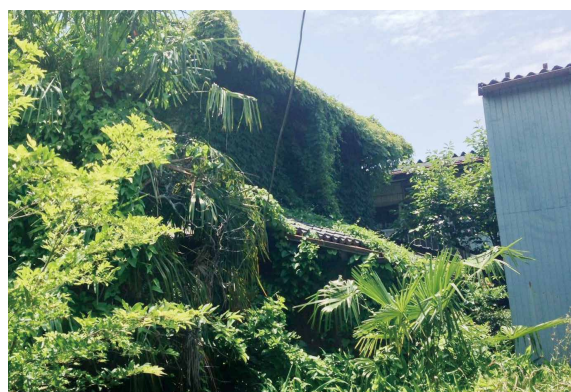
A 今年の7月頃から運営を開始する予定となっている。

Q 特定空家等の解体・除却は、所有者等が自主的に行うのが原則であるが周囲の安全・安心な居住環境の確保のため、必要と判断された場合には、特定空家等の解体・除却のための支援を検討しているがいつ頃から進めるのか。

A 今年度の彦根市空家等対策推進協議会にて具体化に向けて進めていく。

Q 遠方に住む空き家所有者が空き家を管理するために草刈りなどの空き家管理をするメニューをふるさと納税に加えてみてはいかがか。

A ふるさと彦根応援寄付事業として前向きに検討する。



▲草木に埋もれている空き家

その他の質問

- ・彦根シティマラソンについて
- ・彦根市民体育センター代替施設について
- ・空き家が相続放棄された場合は



山田多津子議員



現在の備蓄体制や配布

方法は今後の検討課題



安定ヨウ素剤の迅速な配布体制の確立が必要

Q 福井原発群から55^キ圏内の本市には原子力災害時に備えて安定ヨウ素剤が市立病院に備蓄されている。この服用時期と効果の認識は。

A 被爆前に服用することで甲状腺がんの発生が予防できる。被爆直前までに服用すると放射性ヨウ素の甲状腺への集積が90%以上抑制できる。

Q 福井原発から風速4^{メートル}で2時間程で彦根市に放射能が到達する。篠山市のように事前に個別配布すべきでは。

A 誤飲等による副作用や服用期限もあり事前配布は困難。

Q 市立病院のみの備蓄では全市内配布に時間を要する。自治会単位か小学校区単位の備蓄で迅速な配布体制の確立をするべきでは。

A 現在の備蓄方法や配布方法は今後の検討課題と認識しており調査研究が必要と考える。



▲安定ヨウ素剤（一般的なもの）

その他の質問

- ・彦根市民体育センター再開を求める署名について
- ・石寺地先に計画のラウンドアバウト交差点について



野村 博雄議員



河瀬駅の荒神山への
玄関口として整備状況は



案内看板設置や情報発信
等さらに進めていく

Q 河瀬駅の、荒神山や荒神山古墳への、玄関口としての整備の進捗状況は。

A 地域公共交通再編実施計画を現在作成中で、平成31年4月の再編に合わせて、案内看板を設置予定である。また、河瀬駅の自由通路での荒神山古墳の情報発信スペースについては、指摘のとおり文化財をより広く理解していただくためには格好の場所であり、本年5月末に、駅改札の正面の壁面に、A3サイズ4枚分の解説パネル2枚を設置したところである。

Q 迅速な対応には感謝するが、解説パネル2枚の設置で十分な情報発信ができていますと考えるか。

A 今後も、情報発信スペースの確保や、手に取れる解説パンフレットの設置等、検討を進めていく。



▲河瀬駅自由通路に新しく設置された荒神山古墳解説パネル

その他の質問

- ・公共交通網の整備について
- ・小・中学校の、ホームページや、学校評価制度等について
- ・河瀬公園について



山内 善男議員



市長の責任の総括は



給与減額の提案を行い、
お詫びしたい

Q 庁舎耐震工事で裏合意に基き9億4千万円分の工事を抜いた法違反の反省は。

A 入札監視委員会等の設置や契約監理の役割強化のための組織体制を検討する。

Q 市長は「知らなかった」と答弁したが、10億円もの乖離が、なぜ埋まったか納得できるまで追究すべきでは。

A 市政の最高責任者としてチエックすべきだった。

A 市長の責任の総括は。

Q 信頼関係を損なったこと反省しお詫びする。自身の給与減額の提案を考えている。

Q 再入札で工事を再開するが当該業者は除外すべきでは。

A 要綱に該当しない。

Q 残工事10億円や汚染処理費は中期財政計画に含むか。

A 含まれていない。



▲市庁舎耐震化工事中の様子

その他の質問

- ・中期財政計画でくらしや労働者に犠牲がないように
- ・学校給食の公金化でも、商店や卸売市場の活性化を

個人質問



辻 真理子議員

Q 答弁協議における事実認定は。

A 万全を期しているつもりである。

Q 県に提出した「お願い文書」になぜ6回も「世界遺産」という言葉が出てくるのか。

A 国体主会場は世界遺産登録を目指す彦根城に近接するから、歴史的文化的調和を求めるため記載した。

Q 位置の変更は「世界遺産」が理由だったのでは。

A 国宝彦根城の周辺に配慮するのは当然で、位置について言っていない。

Q 「県からの要請」ではなく「彦根市が要請」したのではないか。

A 平成27年5月25日に県から要請があった。

Q 市長は虚偽答弁を絶対に行わないと宣言するか。

A 宣言する。



市長は虚偽答弁を行わないと宣言するか



宣言する



▲旧市民体育センター

その他の質問

・彦根市立病院広報誌「かがやき通信」を全市に届ける工夫を



谷口 典隆議員

Q 彦根駅前駐輪場の指定管理業者が今年4月から変更になったが、選定時における現在の業者の優位性は何か。

A 主に施設の維持管理の提案や指定管理料の縮減である。

Q 4月以降、駐輪場で働く職員数が削減され、毎月16日の定期販売日の対応の遅れや日々の自転車整理が行き届かないなどの苦情が利用者から寄せられていることの認識は。

A 業者が提出した書面で人員配置計画は把握しているが、サービス低下による利用者からの苦情は認識していない。

Q 管理料が安価であってもサービスが低下しては本末転倒である。市が利用者の意見を聴取し、職員の勤務体制の見直し等を含めた対応をすべき。

A 市としても早急に状況を確認した上で、必要に応じて

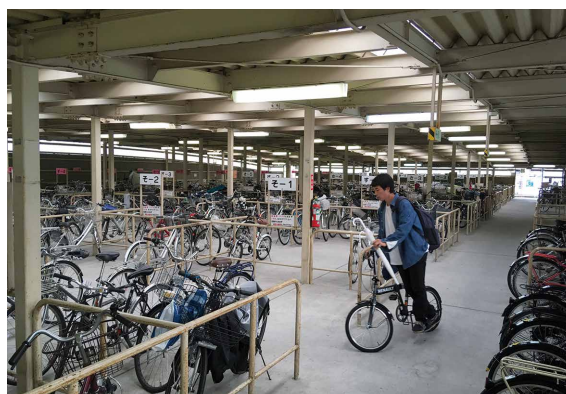


サービスが低下した駐輪場の運営見直しを



職員の体制見直しも含め改善を業者に求める

サービスの改善を業者に求める。



▲彦根駅前自転車駐車場

その他の質問

・消防団幹部人事の選任に係る事案に対する今後の対応と他事業に及ぼす影響は
・スペインのセゴビア市との交流見直しを



安澤 勝議員

Q 健康体操などに取り組んでおられる方とそうでない方の違いは。

A 本市の健康体操については、平成23年度から介護予防と地域の身近な場所での通いの場を増やすことを目的に「コツコツ続ける金亀（根気）体操」の普及に取り組んでいる。この体操は湖東地域リハビリテーションセンターのアドバイザー専門職によって考案され、持久力や筋力向上に効果があり、継続して実施されておられる方からは「足がつかなくなった」「血圧が下がった」など心身の機能向上につながる声を聞いている。また、厚生労働省の資料において、介護予防体操の普及に活発に取り組んでいる自治体で、介護認定率の増加が抑制されているという報告もある。

Q

健康体操に取り組んだ効果は

A

心身の機能向上につながっている



▲金亀（根気）体操の様子

その他の質問

- ・台風等の自然災害による被害の復旧・復興について
- ・ごみ処理施設について市の考えは



和田 一繁議員

Q 城東、城西学区の密集地域での住宅用火災警報器設置率は。

A 密集地域に特化した調査は行っていないが、平成30年春の火災予防週間中に城東、城西学区ともに120世帯を調査した結果、住宅用火災警報器設置率は、城東学区71・7%、城西学区が74・2%である。

Q 自主防災組織結成の進捗率は。

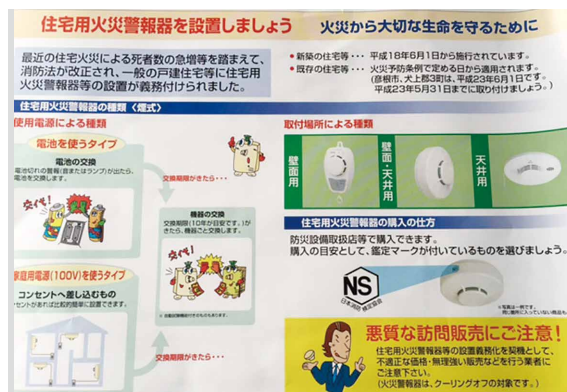
A 全自治会数に占める自主防災組織の構成割合としては、現在のところ327自治会中、200自治会で結成されており、61・2%となっている。城東学区では自治会数43に対して結成されている自治会数13で組織率が30%。城西学区では自治会数15に対して結成されている自治会数13となり87%の組織率である。

Q

城東・城西学区の住宅用火災警報器設置率は

A

城東学区71・7%
城西学区が74・2%である



▲住宅用火災警報器啓発チラシ

その他の質問

- ・彦根駅から佐和山城までの誘導は
- ・彦根城の桜について
- ・平成30年度観光関連事業について

意見書案を賛成多数で可決しました

彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設建設候補地の見直しを求める意見書

彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設の建設候補地は、彦根市長である大久保市長が、彦根愛知犬上広域行政組合管理者として、平成29年6月30日に愛荘町竹原区と公表された。

その後、岩倉区、松尾寺区では早々に反対看板が設置され、現在では周辺6つの自治区より反対表明がなされた。今年5月に開催された秦荘東小学校区住民説明会の会場においても管理者は「地元の皆様にはご理解をいただきたい。まずは竹原が建設予定地になり得るか調査をさせていただきたい。」の一点張りで、周辺住民の納得いく説明は無く、景観や自然環境破壊、交通問題など多くの問題を指摘する意見や、農業への悪影響など不安が広がっている。また、彦根愛知犬上広域行政組合議会において多くの議員が質問しているが、管理者は同様の対応であり、未だ竹原に決定した経過には多くの疑問が存在する。それ故に彦根市民からも決定経過の不透明さや利便性の悪化、運搬経費が大幅に増大することや新たに発見された活断層への懸念など、様々な理由により愛荘町竹原区決定を疑問視されている。さらには圏域全体のごみの約7割を当市が占めていることから、従来どおり市内にごみ処理施設を置くことは当然との見方もある。

こうしたことから、彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設の建設候補地を、愛荘町竹原区とすることを決定を一旦白紙撤回することや、「広域化計画」の是非も含め、真に彦根市民にとって利益になるように検討することを求め、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年（2018年）6月21日

彦根市議会議員 安藤 博

彦根愛知犬上広域行政組合管理者 大久保 貴 殿

議場コンサートを
開催しました

第26回を迎える今回は、平成30年6月定例会開会日の6月4日（月）に開催し、彦根市を中心に活動されている「彦根混声合唱団」の皆さんに唱歌などの混声合唱を披露していただきました。

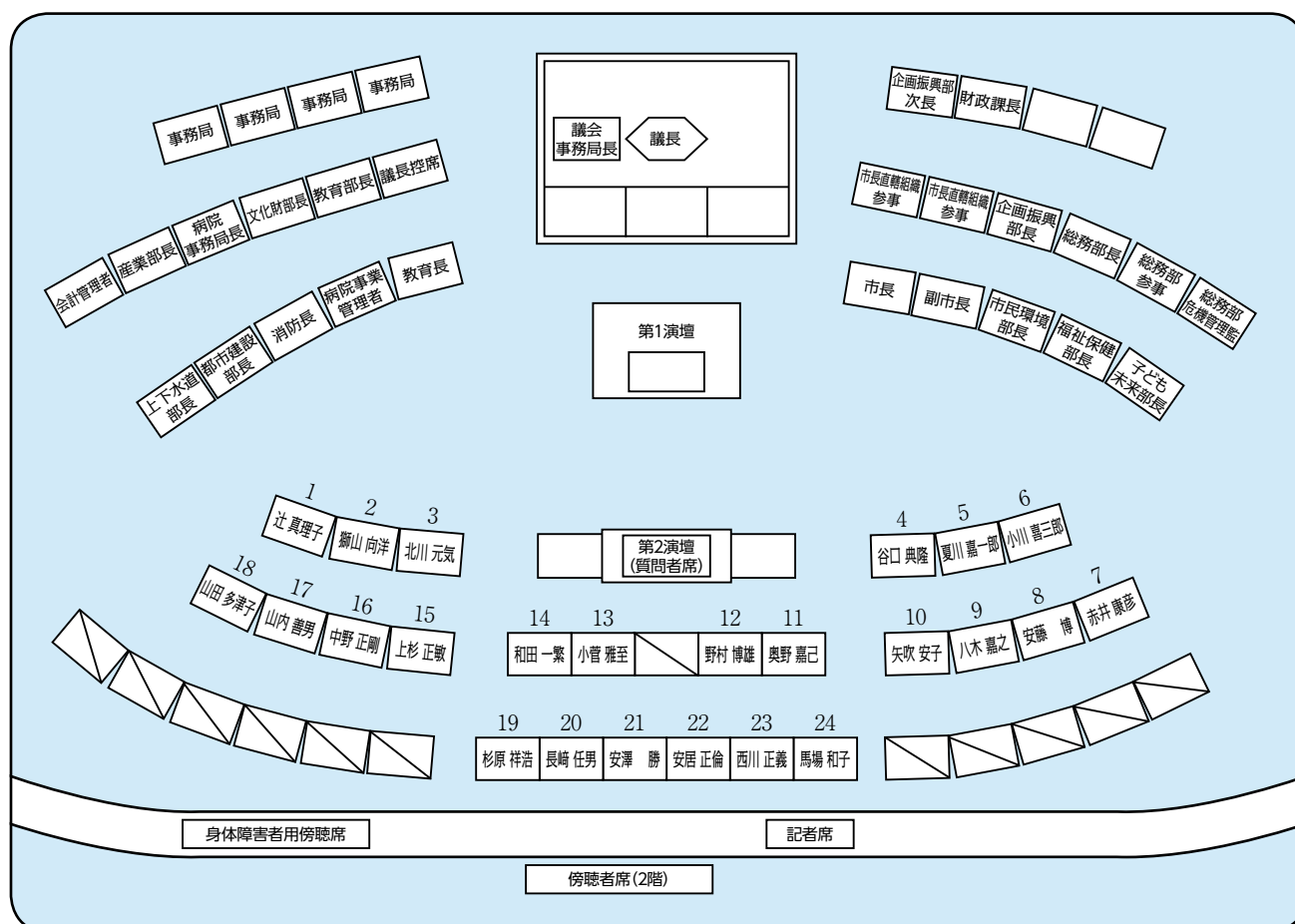
厳正な雰囲気の中、美しい歌声が響きわたり、議員席・傍聴席に集まった約70名の観客の皆さんは静かに耳を傾け、趣のある議場コンサートとなりました。

彦根市への行政視察受入状況について

彦根市議会では、全国各地の議会から行政視察を受け入れています。平成30年4月から6月までの状況についてお知らせします。

視察日	議会名	視察項目
4月24日	埼玉県三郷市議会	・地場産業活性化基本方針と行動計画について ・ブランド戦略(ひこにゃん)について
4月25日	広島県呉市議会	・議会運営、議会改革について
5月24日	群馬県前橋市議会	・子ども、若者プランについて

平成30年7月以降の議場レイアウト



傍聴について

本会議は、45人まで傍聴できます。本会議の傍聴を希望される方は、会議当日に5階の議会事務局の受け付けで、住所、氏名を記入して、傍聴席に入場してください。

身体に障害のある方にも傍聴していただけるよう、車椅子席(3席)と聴覚障害者用磁気誘導無線装置(補聴器などで、音声ははっきり聞き取れる装置)を設置しています。詳しくは、議会事務局(電話0749-30-6130)に問い合わせてください。

政 務 活 動 費

政務活動費とは？

議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に交付されているお金です。本市では、各会派（所属議員が一人の場合も含む）に対して、所属議員1人当たり年24万円を交付しています。

交付の対象は？

本市では「会派が研究会・研修会を開催するために必要な経費」、「会派の行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費」等、使途基準を条例（彦根市議会政務活動費の交付に関する条例）で定めており、基準に合致しない等の理由で政務活動費が余った場合は、返還することになっています。

透明性の高い運用をするために

本市では政務活動費の使途基準を条例で定め明確化するとともに、領収書を添えた収支報告書の提出を義務付けています。また、平成28年度分からは、ホームページで領収書の公開も開始しました。

会派別一覧表(平成29年度交付分 収支報告書) (単位:円)						
交付会派名	人数	平成29年度 交付決定額	支出額	うち会派 自己資金	返還額	執行率 (%)
公政会 (H29.10.31～9名)	10	2,300,000	1,761,931	0	538,069	76.61
夢みらい	6	1,440,000	1,404,671	0	35,329	97.55
公明党 彦根市議団	2	480,000	377,102	0	102,898	78.56
日本共産党 彦根市会議員団	2	480,000	541,404	61,404	0	112.79
begin27・ 明るい彦根市民の会 (H30.1.31解散)	2	480,000	367,602	0	112,398	76.58
志士の会 (H29.4.30解散)	1	240,000	0	0	240,000	0
薫風 (H29.11.1結成)	1	100,000	266,233	166,233	0	266.23
谷口のりたか (H30.2.1結成)	1	40,000	0	0	40,000	0

平成29年度分実績

※収支内訳や領収書、その他、政務活動費にかかる詳細説明については、「彦根市議会ホームページ」でご覧いただけます。

● 大学の講義に議員が参加しました！

5月2日
・ 5月23日

「議員を身近に感じる」

議会 × 大学 連携

彦根市議会と滋賀大学経済学部による連携事業



議員として目指すところや市政等について、
お互いの考えを語り合いました

地方自治および地域社会の活性化と地域における人材育成に寄与することを目的として、昨年に本市議会と滋賀大学経済学部は、「滋賀大学経済学部と彦根市議会との連携および協力に関する協定書」の調印を交わしました。

この協定書に基づき、滋賀大学経済学部における教育・研究活動の充実・発展に資する事業、本市議会における広報・広聴活動等、活動の充実・発展に関する事業などについて、相互に連携・協力を行っています。

議会傍聴も実施！



6月13日（水）の本会議（個人質問）
に滋賀大学経済学部の学生26人が傍聴
されました。

5月30日

「市議会広報誌について考える」

議会が発行する「ひこね市議会だより」のデザインや記事の内容等について、それぞれKPT (Keep→Problem→Try)を用いて学生から貴重なご意見をいただきました！



学生と議員が6つのテーブルに分かれて実施！



様々な“本音”をいただきました！

滋賀大学経済学部連携事業からのKPT表

KEEP（維持すべき点）	TRY（改善策）
・質問者の顔を載せていて伝わりやすい ・文字が大きく、カラーで読みやすい	・可能な号では、「学生」とコラボした記事を企画し、その写真を表紙に使用する ・子ども向け冊子を作成し、ホームページにも掲載する
PROBLEM（問題な点）	
・表紙を見て手に取りたいと思わない ・全体的に硬く、ボリュームがあり、若者が内容に興味を持てない	・重要な部分をはっきりさせ、強調すべき部分は太字にするなど工夫する ・議会として優先すべき事柄を中心に掲載し、ページ数が減るように努める

議員表彰

全国市議会議長会会長から、
4名の議員が15年表彰を受けられました。



山田 多津子議員 八木 嘉之議員 安藤 博議員 赤井 康彦議員

編集後記

また、紙面中でも記載しておりますが、昨年度から本市議会は、滋賀大学経済学部との連携協定を結び、意見交換会等を実施しております。広報委員会では、今後も若者の新鮮なアイデアに触れ、それを取り入れて、多くの方々にわかりやすい紙面づくりができるよう、努めてまいります。

大型施設整備などで市の財政が厳しくなる中、6月定例会前には、平成31年度から平成35年度までの中期財政計画が発表されました。今後、緊急性の低い事業や市単独事業等が見直されます。これからも、議会での議論を深め、議会だより等にてその内容をお伝えしてまいります。



次の定例会は **9月**です

本会議・委員会の日程(予定)

月 日	内 容	時 刻
9月 3日(月)	開 会	9:00
9月12日(水)	代表質問 個人質問	9:00
9月13日(木)		
9月14日(金)		
9月18日(火)	予算常任委員会	9:30
9月19日(水)	市民産業建設常任委員会	9:30
9月20日(木)	企画総務消防常任委員会	9:30
9月21日(金)	福祉病院教育常任委員会	9:30
9月25日(火)	本 会 議	9:00
9月27日(木)	決算特別委員会	9:30
10月 3日(水)		
10月 4日(木)		
10月 5日(金)	閉 会	9:00
10月11日(木)		